【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2012-46493(P2012-46493A)
【公開日】平成24年3月8日(2012.3.8)
【年通号数】公開・登録公報2012-010
【出願番号】特願2011-160917(P2011-160917)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/192　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/32　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/192
Ａ６１Ｋ　47/32
Ａ６１Ｋ　 9/08
Ａ６１Ｐ　29/00

【手続補正書】
【提出日】平成26年7月8日(2014.7.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
試験方法
25～40歳までの4人をパネルとして、試験液約20ｍＬを服用し、調製直後のロキソプロフェンの不快味について評価した。なお、一つのサンプルを評価した後は、温湯で口中をすすぎ、十分経過してから次の試験液の評価を行った。
評価基準
実施例１～３、比較例６～１０の評価はポリビニルアセタールジエチルアミノアセテートを配合していない比較例１との相対評価を行い、実施例４は比較例２、実施例５は比較例３、実施例６は比較例４、実施例７は比較例５との相対評価を行った。
実施例１～３、比較例６～１０は、比較例1に比べて「非常に弱く不快味を感じる」を－３点、「弱く不快味を感じる」を－２点、「やや弱く不快味を感じる」を－１点、「同等に不快味を感じる」を０点、「やや強く不快味を感じる」を1点、「強く不快味を感じる」を２点、「非常に強く不快味を感じる」を３点とし、結果を平均値で求めた。実施例４～７はそれぞれの比較例の評価点を０点とし，比較例に比べ「非常に弱く不快味を感じる」を－３点、「弱く不快味を感じる」を－２点、「やや弱く不快味を感じる」を－１点、「同等に不快味を感じる」を０点、「やや強く不快味を感じる」を1点、「強く不快味を感じる」を２点、「非常に強く不快味を感じる」を３点とし、結果を平均値で求めた、表３および表４に評価点として示した。